



中部電力パワーグリッド

受変電設備に関する技術サポート

対象設備：受変電設備全般

設備の使用年数延伸を目的 とした設備の劣化診断

背景・目的

電力を安定的かつ安価にお届けするために、設備を長く使用し更新費用を抑制する観点から、当社は開閉器や変圧器などの設備について、経年による劣化度を診断する技術を活用し多くのデータを蓄積・分析することで、耐用年数の延伸を図ってきました。



受変電設備

想定される異常

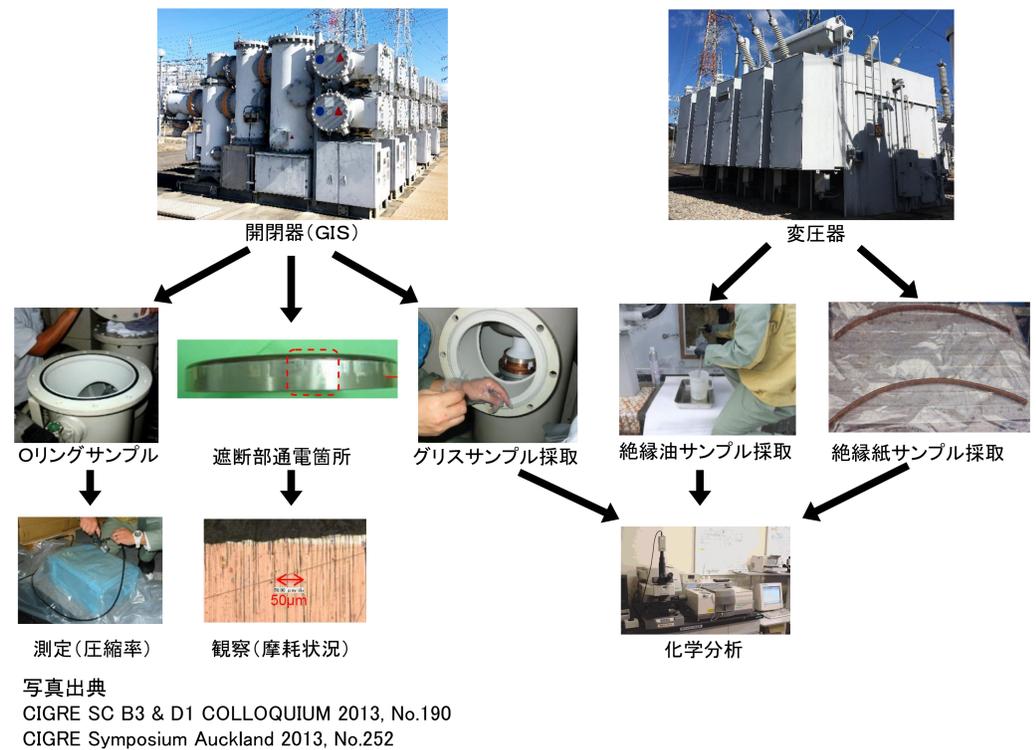
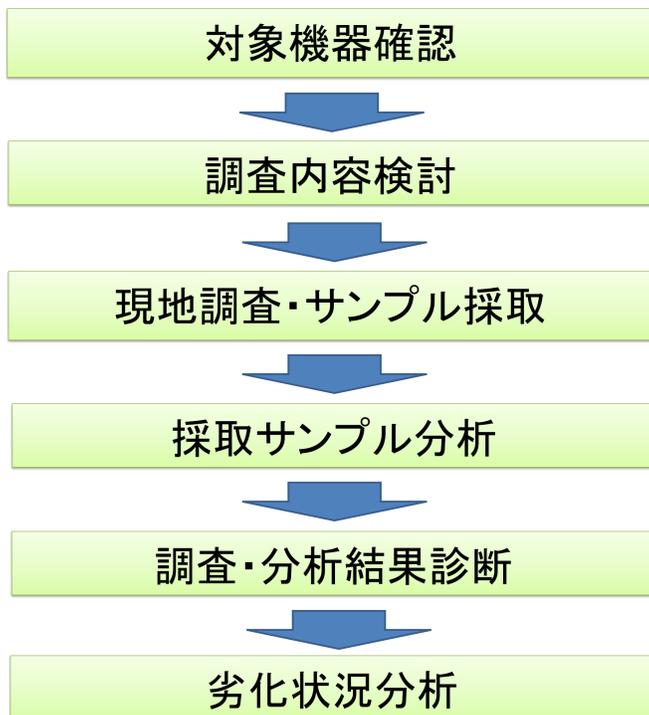
開閉器

- 絶縁ガス封止部(リングなど)の劣化により絶縁ガスが大気に漏洩し、開閉動作不能。
- 遮断部の内部機構の劣化による、開閉動作不能。
- 遮断部通電箇所劣化による、短絡・地絡の発生。

変圧器

- 絶縁油封入部の劣化により漏油が生じ、絶縁性能が低下することで短絡・地絡の発生。
- 絶縁油の吸湿等による絶縁性能低下による、短絡・地絡の発生。
- 巻線部絶縁紙の分子結合の低下による劣化による、短絡・地絡の発生。

提案内容



調査概要

展示者の
ひとこと

開閉器や変圧器など、お客さまが保有する受変電設備は経年に伴う劣化状況により異常発生リスクが増加するため、メーカーの推奨年数を踏まえて経年により設備更新を行っているケースが見られます。数多くの設備を保全している当社は、多種多様な機器に対する劣化状態研究を行っており、その成果を活用してお客さまの受変電設備に対しても劣化診断を行うことで、設備の使用年数延伸ニーズにお応えいたします。

お問い合わせ先: (Tel) 052-740-6975

(E-mail) Souhenden.Gijyutsu-support@chuden.co.jp